

～ 健口と輝く笑顔のために～

# 歯科衛生だより 会報

2022 June vol. **69** 発行人/吉田 直美 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19  
TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <https://www.jdha.or.jp/>

## 都道府県歯科衛生士会会長会 オンライン開催

令和4年2月20日(日)日本歯科衛生士会会議室を本部とし、「令和3年度都道府県歯科衛生士会会長会」がCOVID-19感染拡大防止のため、昨年度に続き、オンライン開催された。出席者73名(都道府県会会長47名、関係者26名)であった。はじめに、吉田直美会長より「コロナ禍で集合型での行事開催が困難であった。一方で、オンデマンド配信、オンラインコミュニケーション等の新しいコンピテンス(能力・スキルなど)を獲得し、これまで参加できなかった会員が参加できる環境を作ることができた。この新たなツールも活用し組織力を高め、積極的な事業計画をお願いしたい」と挨拶があった。

その後、協議事項として、①令和4年度事業計画(案)の概要について ②令和4年度の生涯研修・認定研修について ③令和4年度「ブロック連絡協議会」および「ブロック研修」実施要領について ④「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成

研修事業」について、各担当理事から説明があった。「生涯研修・認定研修について」では、歯科衛生士研修センターでの研修とe-ラーニングが受講単位に追加となった。予防と管理・子供の口腔機能・接遇などの研修項目も新設された。「ブロック連絡協議会」は従来の参加条件に加え、次世代の人材育成に配慮するものとし、協議会に一任されることとなった。



吉田 直美会長

報告事項として、①令和2年度「地域歯科保健活動実施状況調査報告(詳細は本紙68号参照)」 ②会員拡大・組織強化の取り組みについて(「新入会案内」の紹介など) ③歯科衛生士賠償責任保険制度総合生活保険のご案内(Web募集導入・途中加入可など、詳細は本紙71号広告掲載)および、その他の事項について報告があり、閉会となった。

## 歯科衛生推進フォーラムがオンラインで開催

午前の都道府県歯科衛生士会会長会に続いて、午後から歯科衛生推進フォーラムが開催され、参加者は216名であった。

はじめに吉田直美会長より「国民の健康長寿の延伸に歯科衛生士が一丸となって支援できるように取り組むことを期待しており、フォーラムから得られた気づきや成果が、withコロナ時代における歯科衛生士の活動をより適切に推進するきっかけになることを祈念している」と挨拶があった。続いて来賓の小椋正之氏(厚生労働省医政局歯科保健課課長)から、ご挨拶の後「歯科保健医療に関する最近の動向」について



厚生労働省医政局歯科保健課課長 小椋 正之氏

ご講演いただいた。講演では、2040年を展望し、誰もが長く元気に活躍できる社会の実現を目指すための政策課題を解説し、その中の健康寿命延伸プランには、「歯周病等の対策の強化」が掲げられていることも言及された。また、経済財政運営と改革

の基本方針(骨太の方針)では、ここ数年「歯科衛生士による歯科口腔保健の充実」が毎年明記されており、歯科衛生士のさらなる活躍への期待と人材確保の重要性について述べられた。

次に、地域歯科衛生活動の報告が行われた。船岡陽子氏(新潟県歯科衛生士会)から「通所介護事業での口腔機能向上加算算定導入支援事業」、林 糸津香氏(和歌山県歯科衛生士会副会長)から「糖尿病患者への歯周病改善に向けた啓発事業」、松永真理子氏(福岡県歯科衛生士会専務理事)から「高齢者のオーラルフレイル予防事業」について報告された。コロナ禍で活動が制限されるなか、各県の活動について活発な質疑応答の後、閉会となった。

上段左より 松永 真理子氏、久保山 裕子副会長  
下段左より 船岡 陽子氏、林 糸津香氏



## 全国病院歯科衛生士連絡協議会 オンライン開催

令和4年2月19日(土)池上由美子氏(がん・感染症センター都立駒込病院看護部 主任歯科衛生士)による基調講演の後、Google スライドを使用し、ワークショップが開催された。コロナ禍の病院歯科衛生士の状況報告や意見交換が活発になされた。

# 令和4年度 歯科診療報酬改定のポイント(歯科衛生士関連)

令和4年度の診療報酬の歯科の改定率はプラス0.29%と小幅であり、そのため改定内容も限定的である。

歯科衛生士の業務に関連の深い歯周治療については、2020(令和2)年改定で歯周病重症化予防治療が新設されたことにより、歯周病安定期治療がSPT(I)、(II)と併せて3通りとなり、いささか複雑な体系となっていたが、今回の改定では、SPTが一本化され、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所については加算点数が設けられた。また、機械的歯面清掃処置の点数が引き上げられた。

基本診療料(初・再診料)については、新興感染症にも適切に対応できる体制を確保する観点から研修等の要件を見直すとともに、歯周基本治療処置の廃止に併せて評価を見直し、引き上げられ、マイナンバーカードを活用した、いわゆるオンライン資格確認を行った場合の加算が新設された。

周術期等口腔機能管理については、体系の見直しは行われず、周術期等専門の口腔衛生処置1および2の点数が引き上げられた。

在宅医療については、20分未満の診療について、歯科訪問診療料1は引き上げ、歯科訪問診療料3は引き下げられた。また、在宅療養支援歯科診療所1については施設基準の引き上げとともに歯科疾患在宅療養管理料の点数を引き上げ、一方で、在宅療養支援歯科診療所2については施設基準を引き下げるとともに歯科疾患在宅療養管理料の点数が引き下げられた。また、歯科訪問診療料の通信画像情報活用加算が新設され今後の動向が注目される。

\* 公益社団法人日本歯科衛生士会 監修：歯科衛生士のための歯科診療報酬入門2022-2023. 医歯薬出版, 2022, iv-vより一部引用改変



## 主な改定項目(歯科衛生士関連)

項目	旧	新
歯科初診料	261点	264点
電子的保健医療情報活用加算		+7点(新設 再診料の併加算不可)
歯科再診料	53点	56点
電子的保健医療情報活用加算		+4点(新設 初診料の併加算不可)
歯周基本治療処置(P基処)	10点	廃止(基本診療料に包括)
歯周ポケット搔把(PCur)	60・64・72点	廃止
機械的歯面清掃処置	70点	72点
歯周病安定期治療SPT(1歯以上10歯未満)	*SPT(II)廃止 *算定単位:3月1回だが、 か強診の場合は 月1回算定可	200点
歯周病安定期治療SPT(10歯以上20歯未満)		250点
歯周病安定期治療SPT(20歯以上)		350点
歯周病安定期治療SPT(か強診加算)		+120点(新設)
歯科訪問診療料1(20分未満)	770点	880点
歯科訪問診療料3(20分未満)	130点	111点
歯科訪問診療補助加算(1人目) *同一患者に同居する2人~9人を訪問診療した場合	+30点(+50点)	+90点(+115点)
		* ( )内は歯援診・か強診の場合
歯科疾患在宅療養管理料(歯援診1)	320点	340点
歯科疾患在宅療養管理料(歯援診2)	250点	230点
在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料(訪問口腔リハ)(0~9歯)	350点	400点
訪問口腔リハ(10~19歯)	450点	500点
訪問口腔リハ(20歯以上)	550点	600点
訪問口腔リハ(歯援診1加算)	+125点	+145点
訪問口腔リハ(歯援診2加算)	+100点	+80点
小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料(小訪問口腔リハ)	450点	600点
小訪問口腔リハ(歯援診1加算)	+125点	+145点
小訪問口腔リハ(歯援診2加算)	+100点	+80点
通信画像情報活用加算(訪問診療1・2)		+30点(新設)
在宅等療養患者専門の口腔衛生処置	120点	130点
口腔細菌定量検査		130点(新設)
周術期等専門の口腔衛生処置1	92点	100点
周術期等専門の口腔衛生処置2	100点	110点
非経口摂取患者口腔粘膜処置	100点	110点

## 算定要件等の改定(歯科衛生士関連)

	改定前	改定後
う蝕多発傾向者(C管理中)の対象年齢	12歳まで	15歳まで
フッ化物洗口指導加算(F洗)	4歳~12歳	4歳~15歳
フッ化物歯面塗布処置(F局)	0歳~12歳	0歳~15歳
初期の根面う蝕患者	在宅等への訪問診療	(追加)歯管算定(外来)の65歳以上
か強診施設基準(一部追加)	30回以上のSPT	30回以上のSPTまたはP重防
小児口腔機能管理料の対象年齢	15歳未満	18歳未満
口腔機能管理料の対象年齢 *従来通り脳卒中やパーキンソン病などの全身的な疾患を有する患者は年齢に関わりなし	65歳以上	50歳以上
名称変更	歯周疾患処置	歯周病処置

# 令和4年度 認定歯科衛生士セミナープログラム

## 生活習慣病予防

### (特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)コース

日程 9月3日(土)~10月15日(土) オンデマンド配信  
 10月1日(土) ライブ配信  
 10月16日(日) 認定テスト

受講料 30,000円

医療保険者の特定健診・特定保健指導の実施に伴い、特定保健指導の実施者に必要とされる厚生労働大臣が定める「食生活改善指導担当者研修プログラム」に基づいて実施される。本コース修了者は、食生活の改善指導に関する専門知識及び技術を有するものと認められ、医師・保健師・管理栄養士の統括管理者が作成した支援計画に基づく特定保健指導の実施者となることができる。

	研修項目	研修内容
1	健康づくり施策概論	1 社会環境の変化と健康課題 2 健康づくり施策 3 生活習慣病とその予防
2	生活指導およびメンタルヘルスケア	1 生活指導と健康に影響する生活環境要因 2 個人の健康課題への対処行動(保健行動) 3 ストレスとその関連疾患およびストレスへの気づきへの援助 4 個別・集団の接近技法 5 ライフステージ・健康レベル別健康課題と生活指導
3	栄養指導	1 栄養・食生活の基礎知識及び今日的課題と対策 2 食行動変容と栄養教育 食生活改善指導者の役割 3 ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育
4	健康教育	1 健康教育の理念と方法 2 健康生活への指導プログラムの基礎知識と方法 3 メタボリックシンドロームに対する健康教育 禁煙支援プログラムの基礎と実践 4 メタボリックシンドロームと口腔保健
5	運動の基礎科学	運動と健康のかかわり
6	研究討議	意見交換 メタボリックシンドローム関連

## 摂食嚥下リハビリテーションコース

日程 7月16日(土)~9月10日(土) オンデマンド配信  
 9月4日(日) ライブ配信  
 9月11日(日) 認定テスト

受講料 35,000円

摂食嚥下の評価および障害等に関する知識や技術、年代別・病態別等の摂食嚥下障害への対応、栄養・構音機能・呼吸管理など、多職種連携による摂食嚥下リハビリテーションの実践に必要なとされる知識・技術を習得する。日本摂食嚥下リハビリテーション学会との協力により実施される。

	研修項目	研修内容
1	リハビリテーション総論	1 リハビリテーション医学とは 2 運動学習とは 3 摂食嚥下の運動学
2	摂食嚥下障害者への口腔管理の制度の理解	1 摂食機能障害者に関する制度の理解 2 医療保険、介護保険制度と口腔管理の実際

3	摂食嚥下機能のメカニズム	1 摂食嚥下のメカニズム 2 嚥下中枢機構の構造と機能 3 脳と神経支配の構造と機能
4	咬合および咀嚼機能の管理と評価	1 咬合と咀嚼運動 2 咀嚼運動の解剖・生理 3 咀嚼機能の低下の要因 4 咀嚼・嚥下機能と咬合支持の関係性 5 咀嚼の機能低下による全身への影響
5	栄養管理	1 栄養ケアマネジメント 2 栄養摂取方法・補助栄養法 3 食事形態 4 嚥下調整食とは 5 栄養サポートチーム(NST)の概念について
6 ①	リスクマネジメント・全身管理	1 全身状態の把握と対応 2 バイタルサインのチェック
6 ②	リスクマネジメント・呼吸管理と肺理学	1 呼吸器の解剖と生理 2 アセスメント方法 3 呼吸法 4 呼吸筋ストレッチ 5 徒手呼吸助法 6 体位ドレナージ 7 気道管理(気管カニューレなど)と外科処置
6 ③	リスクマネジメント・経鼻吸引	1 経鼻吸引 2 演習
7 ①	病態別摂食嚥下障害(小児の摂食嚥下障害)	1 小児の口腔形態 2 正常発達と口腔機能の獲得 3 小児の摂食嚥下障害
7 ②	病態別摂食嚥下障害(中途障害の摂食嚥下障害)	1 頭頸部外科手術 2 歯科的対応 3 頭頸部がんの放射線治療後の摂食嚥下障害の病態
7 ③	病態別摂食嚥下障害(中途障害の摂食嚥下障害)	1 脳血管障害 2 高次脳機能障害 3 神経・筋系疾患
8	摂食嚥下の評価	1 フィジカルアセスメント 2 スクリーニング手法 3 頸部聴診法 4 嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査
9	食事外部観察評価	1 維持期における摂食嚥下機能低下の原因とリスクおよびその対応 2 摂食時の外部観察評価 3 その外部観察評価における問題点の抽出、分析およびその対応 4 演習
10 ①	摂食嚥下訓練	1 摂食嚥下障害に対する訓練計画立案、食指導 2 各病態に対する訓練法とその選択
10 ②	摂食嚥下訓練	3 演習
11 ①	問題解決力の実践	1 歯科衛生士の視点とは 2 問題解決過程の概要
11 ②	問題解決力の実践	3 演習 4 フィードバックと模範解答

## 在宅療養指導・口腔機能管理コース

**日 程** 9月3日(土)～10月15日(土) オンデマンド配信  
 10月9日(日)、10日(月・祝) ライブ配信  
 10月16日(日) 認定テスト

**受講料** 40,000円

歯科衛生士は口腔機能管理を必要としているより多くの在宅療養者に対応することが求められてきている。さらに、昨今は医療機器の知識も必要になってきている。

これらをふまえて、本プログラムは在宅療養の支援に必要な口腔衛生管理・口腔機能管理の知識・技術を習得できるよう、組まれたものである。

	研修項目	研修内容
1	医療と介護の連携	医療と介護の連携について
2	在宅医療の現状	1 在宅医療を取り巻く環境 2 医療と介護 3 医療と口腔機能
3	在宅医療に関わる全身疾患と口腔機能	1 病態把握 2 リスク評価の重要性 3 全身疾患と検査値との関連 4 薬剤の効果と影響
4	多職種連携について	1 多職種連携の実際 2 在宅療養者の環境把握 3 多職種からみた口腔機能 4 家族支援とは
5	口腔機能管理の実際	1 口腔衛生(口腔の解剖学的・生理学的基礎) 2 口腔機能(咀嚼と食塊形成)
6	栄養管理・栄養支援	1 栄養評価 2 在宅療養者の口腔機能と栄養支援
7	終末期への対応	1 看取りの考え方 2 歯科衛生士の役割
8	在宅医療に関わる医療機器の取り扱い	1 吸引器 2 呼吸器 3 他の医療機器
9	口腔機能管理の実践例の紹介	1 ミールラウンド 2 施設・居宅における支援等 3 看取りの支援
10	在宅支援と歯科衛生士介入	グループワーク(2症例) 1 状況設定 2 問題点の抽出(KJ法) 3 介入法の検討

## 糖尿病予防指導コース

**日 程** 10月17日(月)～11月19日(土) オンデマンド配信  
 10月16日(日)、11月13日(日) ライブ配信  
 11月20日(日) 認定テスト

**受講料** 35,000円

糖尿病予防の口腔保健指導および管理にかかる専門的な知識・技能の習得に資する研修を実施し、地域社会に貢献できる医学的・歯学的知識と口腔保健学的技能を有する歯科衛生士を養成する。徳島大学歯学部との協力により実施。

	研修内容
1	オリエンテーション 1 アイスブレイク 2 糖尿病とその予防で学習したいこと

2	ペリオドンタル・メディスン
3	糖尿病の基礎知識
4	糖尿病臨床の実際
5	国民健康の疫学 1 講義視聴後に「糖尿病予防の目的と必要性」
6	糖尿病と歯周病の関連性
7	学校保健と糖尿病予防
8	地域歯科医療における糖尿病予防 1 多職種連携における糖尿病予防
9	糖尿病予防の指導と管理 1 糖尿病予防の栄養指導と管理 2 糖尿病予防の運動指導と管理 3 糖尿病予防の口腔保健指導と管理
10	歯科衛生士による保健指導 1 歯科衛生士による口腔保健指導(1) 2 歯科衛生士による口腔保健指導(2)
11	糖尿病予防の指導と管理 1 糖尿病療養の保健指導と管理 2 糖尿病療養の口腔保健指導と管理
12	糖尿病療養管理の視点を予防に役立てる 1 カンパセーションマップ 2 療養指導カードシステム
13	成人歯科健康診査「生活歯援プログラム」
14	シナリオに対する口腔保健指導プラン作成
15	教育講演

## 歯科医療安全管理コース

**日 程** 7月30日(土)～9月4日(日) オンデマンド配信  
 8月27日(土)、28日(日) ライブ配信

**受講料** 35,000円

医療連携、多職種連携に対応し歯科医療機関における歯科医療安全管理体制の確立に向けて高度・総合的な業務実践・指導技術を有する歯科衛生士を養成する。広島大学歯学部へ委託実施。

	研修内容
1	感染予防対策総論 感染予防の概論など
2	歯科医療における標準予防策の具体的方法 1 標準予防策の基本的考え方と歯科医療 2 オーデットについて
3	歯科医療器具の洗浄、消毒、滅菌の総論 1 洗浄、消毒、滅菌の総論
4	病院、歯科診療所での感染予防対策の実際 1 病院・歯科診療所における実践方法
5	歯科医療の環境整備・医療廃棄物の取扱い 1 ユニットチェアサイドの環境整備 2 水の管理 3 医療廃棄物の取扱い 4 針刺し・粘膜曝露等職業感染の考え方
6	院内感染対策で重要な微生物 1 院内感染対策で重要な細菌、ウイルス 2 薬剤耐性菌 3 AMRアクションプラン

7	標準予防策の実際 1 手指衛生、個人防護具(PPE)、ラッピング等の実際 2 歯科衛生士倫理綱領確認 3 医療安全自己チェック
8	COVID-19の基礎知識と感染予防対策について 1 COVID-19の基礎知識と感染予防対策など
9	医療安全対策総論 1 医療安全管理体制構築の指針 2 ヒューマンエラーと医療事故
10	医薬品、医療機器の安全管理方法 1 医薬品管理(数量、期限など) 2 薬剤の知識(処方箋、禁忌など) 3 機材管理(モニター、AEDなど)
11	周術期口腔ケア、訪問診療の医療安全対策 1 周術期口腔ケア、ICU、点滴回路 2 訪問診療における予防対策(誤嚥、誤飲、転倒、転落など) 3 ICU、点滴回路など
12	口腔外科手術時の医療安全対策 1 口腔外科手術での偶発症対策 2 インフォームドコンセント
13	歯科衛生士が起こしやすいインシデントの対応予防策 1 事例から学ぶ具体的予防策・対応方法
14	レジリエンス・エンジニアリングと医療安全 1 レジリエンス・エンジニアリングと医療安全を学ぶ
15	医療情報、個人情報の管理と実際 1 医療情報、個人・診療情報の規定 2 医療安全としてのカルテ記載方法 3 カルテや患者情報の取り扱い方
16	歯科衛生士のリスクマネジメントプロセス 1 診療現場における歯科衛生士のリスクマネジメントプロセスの実際
17	歯科で起こりやすい患者急変時の対応と予防策 1 デンタルショック、過換気症候群、アナフィラキシーショックの違い 2 誤飲などの緊急対応法 3 救急薬剤、救急器材 4 モニターの見方 5 小児への対応 6 BLSの実際など
18	臨床現場における医療安全(感染含)対策ワークショップ 1 ワークショップについて 2 項目番号18の課題説明 3 アイスブレイク 4 グループ討論、成果作成 5 発表、全体討議、フィードバック

19	感染防止対策に関するワークショップ 1 テーマ別のオーデット作成 2 各グループからの発表 3 フィードバック
20	事例から学ぶ医療安全対策ワークショップ 1 実際の事例について対応策・予防策を討論 2 各グループからの発表 3 フィードバック

### 医科歯科連携・口腔機能管理コース

**日 程** 前期 7月2日(土)～7月24日(日) オンデマンド配信  
7月31日(日) ライブ配信  
後期 8月1日(月)、8日(月)、22日(月)、29日(月)  
のいずれか1日  
東京歯科大学市川総合病院で見学・実習  
※後期は4回に分け、各班5～6名ずつ実施

**受講料** 55,000円

急性期・回復期等の口腔機能管理にかかる専門的な知識・技術の習得に資する研修を実施し、総合病院における多職種連携に必要な医学的知識を有する歯科衛生士を養成する。東京歯科大学に委託実施。

研修内容	
1	がん患者の周術期管理～外科の立場から
2	病院における口腔機能管理に必要な基本的知識
3	脳卒中患者の口腔機能管理
4	周術期口腔機能管理の制度(保険点数)
5	緩和ケア～認定看護師の立場から
6	化学療法と有害事象～薬剤師の立場から
7	放射線療法と有害事象 ～医学物理士(放射線技師)の立場から
8	臨床研究の進め方
9	グループワーク(症例検討)
10	周術期口腔機能管理～歯科衛生士の立場から
11	東京歯科大学市川総合病院 見学説明
12	歯科・口腔外科外来での周術期口腔機能管理見学
13	口腔がんセンターでの周術期口腔機能管理見学
14	栄養サポートチーム(NST)回診見学
15	病棟での口腔管理見学
16	シミュレータを用いた吸引実習
17	シミュレータを用いた呼吸音聴診実習
18	シミュレータを用いた挿管患者における口腔衛生管理



Linking JDHA to IFDH

### 『International Journal of Dental Hygiene』

本会では、国際歯科衛生士連盟が発行する学術誌「International Journal of Dental Hygiene(IJDH)」を購読しています。会員の皆様にはIJDHが無料公開されているウェブサイトから直接アクセスできるように、最新号のURLを公開いたします。有料の部分については、本会で閲覧することができます。国際協力委員会までお申し込みください。(FAX 03-3209-8023)

国際歯科衛生士誌

2022年2月 第20巻1号

本号は原著論文とは異なり、すべて総説で構成されています(全14編)。電動ブラシや歯間清掃・様々な成分を用いた洗口剤の効果、幼少期う蝕が及ぼす口腔関連QOLへの影響、糖尿病患者が歯を失うリスク、高齢者のプラークコントロール戦略についてなど、エビデンスに基づく歯科衛生実践のヒントとなる最新の知見がまとめられています。



(国際協力委員会 藤原 奈津美)

# 令和3年度 認定歯科衛生士の紹介

日本歯科衛生士会認定歯科衛生士制度規則に基づき、認定分野別に「生活習慣病予防(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)」36名、「摂食嚥下リハビリテーション」41名、「在宅療養指導・口腔機能管理」39名、「糖尿病予防指導」40名、「医科歯科連携・口腔機能管理」21名、「歯科医療安全管理」29名、「障害者歯科」34名、「老年歯科」2名、「地域歯科保健」3名、「口腔保健管理」1名、「う蝕予防管理」101名、「研修指導者・臨床実地指導者」32名、合わせて379名の方々を認定歯科衛生士名簿に登録し、認定証を交付いたしました。各分野において認定歯科衛生士として活躍されることを期待します。

<b>【認定分野A】生活習慣病予防(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)</b>				(香川県) 戸敷 真美 (鹿児島県) 山元 美礼			
(北海道) 金子 ますみ (栃木県) 両角 恵美 (埼玉県) 竹谷 沙織	(千葉県) 小森 睦子 (東京都) 大和田 瑞希 (神奈川県) 鳴海 広美 (神奈川県) 小西 かおり (埼玉県) 清水 美歩 (埼玉県) 虎谷 知美 (埼玉県) 石松 順子	(山梨県) 内田 真弓 (長野県) 佐々木 浩美 (岐阜県) 山田 小枝子 (山梨県) 山越 陽子	(静岡県) 塩崎 洋子 (愛知県) 向坂 直巳 (岐阜県) 青木 恵子 (岐阜県) 岩倉 由希	(滋賀県) 花谷 早希子 (奈良県) 長谷川 加奈 (京都府) 米田 衣代 (大阪府) 辰巳 光世 (岡山県) 宇野 文 (岡山県) 出口 智恵子 (岡山県) 田中 有希子	(香川県) 成行 穂子 (鹿児島県) 加島 小百合 (福岡県) 島本 富世 (長崎県) 大塚 善美 (宮崎県) 矢吹 恵美子 (宮崎県) 甲斐 きくえ		
<b>【認定分野A】摂食嚥下リハビリテーション</b>				(大分県) 藤田 峰子 (沖縄県) 前仲 佐和			
(宮城県) 山田 桂子 (栃木県) 田嶋 友香 (金子) ひとみ (群馬県) 瀨下 愛子	(埼玉県) 山崎 弘美 (飯塚) 直美 (東京都) 山本 綾 (山中) 由美	(神奈川県) 石原 ひろ子 (長野県) 西村 礼子 (石川県) 藤山 浩美 (岐阜県) 山本 綾子	(静岡県) 小柳津 弘子 (愛知県) 加知 美穂子 (神田) 明美 (宮北) 裕子 (中山) 知子 (平野) 真実子	(滋賀県) 新 康子 (溝井) 敬子 (京都府) 黒田 伸子 (香織) 香織 (岡本) 美子 (大阪府) 坪井 千夏 (出口) 智秋	(伊吹) 都 (森田) 江美子 (水戸) 周子 (松田) 梅香 (奈良県) 永原 桃 (岡山県) 山岸 真由美 (河野) 真由美	(広島県) 中村 安那 (水戸) 周子 (山口県) 奥野 奈々 (福岡県) 山岸 真由美 (河野) 真由美	
<b>【認定分野A】在宅療養指導・口腔機能管理</b>				(大分県) 大松 淑子 (大分県) 角 久美			
(北海道) 久米田 万里 (青森県) 石塚 育子 (茨城県) 古谷 淳子	(横須賀) 有花 (群馬県) 成田 幸子 (飯沼) 公子 (関口) 千夏	(埼玉県) 大村 悦子 (千葉県) 程塚 美代 (田中) 美佐子 (三合一) 恵里	(東京都) 岡本 和佳子 (竹山) 菜穂子 (中浜) 恵 (矢島) 秀子 (井上) 百世	(山口) 美帆 (神奈川県) 岩谷 まひる (佐竹) 明美 (山梨県) 金丸 亜弥 (石川県) 宮森 奈津代	(福井県) 西 加年代 (静岡県) 石野 晶子 (平田) 典子 (山田) 統子 (愛知県) 牧 優美	(大阪府) 今井 美季子 (真喜屋) 理恵 (石塚) 千穂 (兵庫縣) 中村 玲子 (米谷) エリカ (松本) 靖子	(広島県) 高尾 まゆみ (福岡県) 渡辺 優子 (立和名) 雅恵 (荻) 由美 (佐賀県) 岩本 綾
<b>【認定分野A】糖尿病予防指導</b>				(高知県) 石崎 百合 (福岡県) 安部 真由美 (佐賀県) 小部 素子 (愛媛県) 熊本 尚美			
(北海道) 太田 繭子 (青森県) 木村 和子 (道尻) 紋佳 (福島県) 鈴木 律絵	(群馬県) 近藤 直子 (勝見) 佐知子 (東京都) 細田 江美子 (亀田) 麻未 (室岡) 仁美	(神奈川県) 樽見 心 (神奈川県) 辻上 博美 (静岡県) 戸崎 智恵 (三重県) 相原 直子	(日浦) 美和 (滋賀県) 和田 絵里子 (谷) 晶美 (京都府) 相原 直子	(大阪府) 藤田 真奈美 (真奈美) 敦子 (樋口) 敦子 (古賀) 恵 (板並) 悠香 (村井) 亜希子 (兵庫縣) 清水 由起子 (破魔) 幸枝	(白藤) 和子 (奈良県) 黒田 典代 (岡山県) 粕井 美里 (山口県) 今田 千恵美 (徳島県) 阪井 礼 (丸崎) 愛	(清野) 方子 (山口) 真理子 (上田) 甲奈 (香川県) 川畑 真理 (岩本) 充子 (愛媛県) 今田 千恵美 (徳島県) 阪井 礼	
<b>【認定分野A】医科歯科連携・口腔機能管理</b>				(奈良県) 椿本 さおり (森本) 清香 (尾形) 祐己 (兵庫縣) 城越 信子			
(北海道) 中平 瑤子 (宮城県) 白井 真衣	(小野) ゆかり (埼玉県) 田村 彩織 (中村) まゆみ	(東京都) 田中 祐子 (高澤) 理奈 (小林) 文子	(工藤) 美佑季 (神奈川県) 赤松 知美 (静岡県) 浦田 智佳子	(大阪府) 藤田 典子 (藤田) 未来 (植田) 忍	(奈良県) 鴻池 智恵 (岡山県) 中山 良子		
<b>【認定分野A】歯科医療安全管理</b>				(熊本県) 松永 千恵 (鹿児島県) 田中 久子			
(青森県) 石田 菜穂子 (若手県) 浪岡 多津子 (千葉) 茂美	(宮城県) 前沢 葉子 (栃木県) 中村 美智子	(埼玉県) 清水 絹江 (廣瀬) 加奈恵 (久保) 弘子	(千葉県) 山口 朱見 (木澤) みゆき (東京都) 加藤 理子	(平栗) いづみ (神奈川県) 吉村 理恵 (石川県) 槇野 莉沙 (岐阜県) 栗原 洋美	(大阪府) 上田 ミユキ (松村) 和子 (兵庫縣) 森本 理恵 (和歌山県) 吉田 俊香	(岡山県) 戸田 貴美子 (広島県) 仁井谷 善恵 (橋原) 路子 (甲斐切) 有紀子	(愛媛県) 三谷 幸子 (北岡) 千恵 (福岡県) 梶尾 富喜 (小野) 三保子
<b>【認定分野B】障害者歯科</b>				(福岡県) 浦邊 薫 (佐賀県) 寶亀 幸子 (沖縄県) 赤嶺 あきな (国吉) 初枝			
(栃木県) 小林 幸恵 (群馬県) 熊井 鈴子	(埼玉県) 原 真由美 (富田) 早央里 (千葉県) 青柳 翠	(東京都) 由利 啓子 (若松) 春菜 (皆川) 渚	(神奈川県) 橋本 富美 (横山) 混介 (平山) 若葉 (藤田) 千紘	(新潟県) 近藤 淳子 (阿部) 孝枝 (森岡) 沙耶香 (富山県) 大平 千尋 (盛本) 美悠	(静岡県) 木保 敬子 (松風) 雅子 (愛知県) 鈴田 弓実 (堀越) あゆみ	(三重県) 田中 玲子 (一尾) 智郁 (大久保) 久美子 (大阪府) 岡野 悠貴 (東田) 敦美	(原田) 真希 (兵庫縣) 鳥野 明香 (竹谷) 史帆 (広島県) 渡真 由子
<b>【認定分野B】老年歯科</b>		<b>【認定分野B】地域歯科保健</b>		<b>【認定分野B】口腔保健管理</b>			
(石川県) 近藤 有希	(愛知県) 亀井 智子	(千葉県) 三分一 恵里	(静岡県) 藤田 美枝子	(香川県) 丸岡 三紗	(神奈川県) 石黒 梓		

【認定分野B】う蝕予防管理									
〈北海道〉 安部 英美 〈岩手県〉 芳賀 光 〈宮城県〉 梶原 貴子 庄子 明美 高際 加代子 〈福島県〉 佐久間 真紗美 鈴木 律絵 〈埼玉県〉 古田 珠恵	平澤 一美 〈千葉県〉 遠藤 詳子 甲斐 寛子 遠藤 佳奈 〈東京都〉 鈴木 恵美 松原 こずえ 細田 久子 酒井 麻里 佐藤 祥子 鈴木 恵 小林 理紗	大嶋 依子 由佳子 豊島 澄枝 松澤 ひとみ 赤間 ひとみ 篠崎 由季 坂本 奈津季 永里 咲恵 今村 安芸子 大迫 彩夏 栗野 悠美 友梨子 裕美 植松 裕美 林 香織	室 葉月 北田 英里 東 香里 松本 文恵 森 彩子 平井 千晴 佐藤 なつき 三宅 麻未 高橋 由香 重井 亜紀 〈神奈川県〉 中向井 政子 茂木 みく	東 美咲 小和田 雅子 鈴木 美南子 津ヶ谷 りさ 喜多 早紀 谷戸 茜 菅原 美咲 渡邊 真由美 河内 恵美 森崎 美裕 莊司 琴 武村 花奈 関端 麻美 山本 歩実 麻生 綾子	〈長野県〉 長瀬 昭子 中島 香奈子 小池 桃子 岩間 美樹 藤升 泉 〈新潟県〉 高田 綾美 生野 美絵 齋藤 慕子 井川 愛 土藏 明奈 藤田 莉早 堀 十月	近澤 沙耶 宮崎 玲菜 高橋 明里 渡邊 友美 水野 恵子 北村 宏美 〈愛知県〉 作 陽子 興 柊未希 豊満 衣鯉 〈大阪府〉 増田 昌子 藤田 優花 板並 悠香 秋山 遥	吉川 美優 安藤 さやか 橋本 小織 本橋 由似子 吉川 祐子 松山 ゆきの 山本 真由美 〈兵庫県〉 田中 絹子 山中 舞子 〈鳥取県〉 仲田 叙子 小澤 久美子 〈岡山県〉 高本 佳那子	〈徳島県〉 中山 恵美子 〈香川県〉 横井 敦子 〈福岡県〉 柴戸 あゆち 〈宮崎県〉 久保田 祥子 〈鹿児島県〉 村原 友紀	
【認定分野C】研修指導者・臨床実地指導者									
〈青森県〉 日野口 尚子 阿保 ひとみ 〈岩手県〉 戸田 康子	〈茨城県〉 持田 雄子 〈栃木県〉 中村 美智子	〈東京都〉 坂口 由季 小川 和恵 〈新潟県〉 近藤 淳子	石澤 尚子 〈岐阜県〉 縄田 理佳 〈愛知県〉 高阪 利美	細久保 真理子 鈴木 佳美 谷川 紀子 田中 千暁 〈滋賀県〉 日野 隆子	村西 加寿美 〈大阪府〉 高木 直美 福岡 智子 武藤 真琴 関野 みな子	〈奈良県〉 吉福 美香 〈兵庫県〉 大脇 利美 高木 史恵 熱田 直美	〈和歌山県〉 野村 カオル 〈広島県〉 市川 稔奈子 〈福岡県〉 秋吉 知美 寺松 順子	中村 次代 塩飽 ゐみ子 〈沖縄県〉 仲程 尚子	

## 第25回感染症予防歯科衛生士講習会開催のお知らせ

### 1 目的

歯科衛生士を対象に、最新の感染症事情、院内感染の予防管理対策や歯科診療所における医療安全対策に関する講習を行うことにより、患者が安心して受けられる歯科保健医療の提供を図ることを目的とする。

### 2 実施の主体（共催）

公益社団法人 日本歯科医師会  
公益社団法人 日本歯科衛生士会

### 3 協力

一般社団法人 石川県歯科衛生士会  
一般社団法人 宮城県歯科衛生士会

### 4 対象

業務に従事している歯科衛生士

### 5 開催日時・研修方法

A日程 令和4年7月3日(日) 13時～16時45分  
Web研修（ライブ配信）  
（担当県）石川県歯科衛生士会

B日程 令和4年8月7日(日) 13時～16時45分  
Web研修（7月3日の録画映像を配信）  
（担当県）宮城県歯科衛生士会

### 6 定員

各200名（A・B日程）

### 7 受講料

無料

### 8 研修単位

- 日本歯科衛生士会 第5次生涯研修制度 専門研修 3単位  
（基本研修 特定コース「歯科診療所等における医療安全管理対策」）
- 日本歯科衛生士会 第5次生涯研修制度 認定更新生涯研修 3単位

### 9 修了証書の交付

講習を修了した者に対し、修了証書を交付します。

### 【申込期間・申込方法】

- 申込期間 令和4年6月3日(金)～6月23日(木)  
定員になり次第締め切ります。
- 申込方法 下記URLよりお申し込みください。  
<https://forms.gle/sQD2gnrW6oTBgHSw6>

スマートフォン用QRコード▶



《申し込みにあたっての留意点》

- ・申し込み後は日本歯科衛生士会よりメールを送信いたしますので、ドメイン「jdha.or.jp」からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。
- ・申し込み後、1週間を経過してもメールが届かない場合は、ご連絡ください。

### 【注意事項】

- 受講申し込み後、何らかの事情で欠席する場合は、順次、他の者に受講の機会を与えますので、その旨を必ず日本歯科衛生士会までメールでご連絡ください。
- 遅刻や早退の場合、研修単位の付与ならびに修了証書の交付はございません。

### 【問い合わせ先】

日本歯科衛生士会(担当 増田)  
E-mail:kensyu@jdha.or.jp FAX:03-3209-8023

### 【研修内容】

13:00～13:10	開会
13:10～14:10	新型コロナウイルスの来し方行く末 自治医科大学附属病院 病院長補佐 感染制御部長/感染症科(兼任)科長 准教授 森澤 雄司先生
14:20～15:20	歯科における院内の感染予防と感染管理 大阪大学歯学部附属病院 口腔総合診療部 副部長・准教授 野崎 剛徳先生
15:30～16:30	歯科診療所における医療安全管理 －出来ることから始める院内感染予防 医療安全とチームの視点から－ 赤坂見附磯谷歯科室 院長 磯谷 一宏先生
16:30～16:45	閉会

## 理事会報告

令和3年度第6回理事会が令和4年3月13日(日)に開催された。審議事項および報告事項は次のとおりである。

## 審議事項

- (1) 令和4年度事業計画(案)について
- (2) 令和4年度収支予算(案)について
- (3) 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- (4) 令和4年度定時代議員会開催(案)について
- (5) 委員の委嘱について
  - ① 広報委員会委員の委嘱について
  - ② 認定歯科衛生士審査会委員の委嘱について
- (6) 規則・規程の一部改正(案)について
- (7) 新入会員の承認について
- (8) その他

## 報告事項

- (1) 会務報告について
  - ① 業務執行理事等の職務執行報告について
  - ② 常務理事会の報告について
  - ③ 常任委員会等の報告について
- (2) 第3回専門歯科衛生士制度検討小委員会について
- (3) 監査実施報告について
- (4) 令和4年度各委員会の活動計画(案)について
- (5) ① 令和3年度 歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業報告について
  - ② 令和2年度「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」修了者アンケートの調査結果報告について
- (6) 第2回「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」運営協議会報告について
- (7) 第1回歯科衛生士教育研修センター運営委員会(広島大学)報告について
- (8) 第1回歯科衛生士の復職支援・離職防止等に関する運営協議会(東京医科歯科大学)報告について
- (9) 事務局職員業務分担(令和4年度)について
- (10) 後援名義使用及び生涯研修制度の研修単位認定について
- (11) チーム医療推進学会報告について
- (12) 災害歯科保健医療連絡協議会報告について
- (13) 母子保健事業にそのまま活用できる歯科保健指導カード(案)について

## 令和4年度 定時代議員会の開催について

代 議 員 各 位

公益社団法人日本歯科衛生士会  
会 長 吉 田 直 美

令和4年度定時代議員会を下記のとおり開催いたします。

## 記

- 1.日 時 令和4年6月12日(日)  
13時30分～16時
- 2.場 所 ステーションコンファレンス東京 501  
東京都千代田区丸の内1-7-12  
サピアタワー5階
- 3.議 題
  - 第1号議案 令和3年度事業報告(案)に関する件
  - 第2号議案 令和3年度決算報告(案)に関する件
  - 第3号議案 選挙管理委員の選任に関する件
- 4.報告事項
  - ① 令和4年度事業計画について
  - ② 令和4年度収支予算について

## 日本歯科衛生学会 第17回学術大会 開催形式変更のお知らせと参加登録のご案内

第17回学術大会は、徳島県での開催とWeb配信を組み合わせたハイブリッド開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から慎重に検討いたしました結果、今回も現地での開催は中止とし、9月18日～10月31日までのWeb開催とすることを決定いたしました。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

学術大会の詳細は日本歯科衛生学会雑誌Vol.17 No.1(8月発行)および大会ホームページをご参照ください。  
参加登録は、インターネットでの登録のみとなります。

学生会員含む学生の参加方法については、大会ホームページでご案内いたします。

**登録期間：2022年7月1日(金)10時～10月31日(月)10時**

※Web配信終了日が10月31日と決定いたしました。配信終了日まで登録可能です。

**参加費：会員 7,000円 会員外 12,000円**

※別途システム手数料がかかります。

## 【登録方法】

日本歯科衛生学会第17回学術大会ホームページ内の「参加登録ページ」からお手続きください。クレジットカード払いまたはコンビニ払いがご利用いただけます。

<https://jsdhm.jdha.or.jp/17th/>

※パソコン、スマートフォンから24時間登録可能です。



## 【注意事項】

- 令和4年度の会費が未納の方は、会員としての取り扱いはできませんのでご注意ください。
- 登録後の変更、キャンセルは一切お受けできません。納入された参加費は理由を問わず返金いたしません。

問い合わせ先

日本歯科衛生学会事務局 E-mail: gakkai@jdha.or.jp